

ユーロ7(Euro7)時代 車載サイバーセキュリティ市場の成長

自動車の新しい環境規制、ユーロ7とは

欧州連合（EU）が導入する次世代の自動車環境規制であり、走行全過程における環境負荷を管理する規制体系です。オン・ボード・モニタリング(OBM)システムを用いて走行中に生成されるデータを継続的に管理する体制が求められます。



排出ガスデータの常時監視



自動車ライフサイクル管理



データに基づく規制管理

データの完全性確保および耐タンパ性のため、国際法規「UN-R155」への準拠を必須要件として明記車両データの信頼性と安全性を確保するための一つの仕組みとして運用

ユーロ7の排出ガス
および環境規制

UN-R155
サイバーセキュリティ

車両データの信頼性と安全性を確保する基盤

ユーロ7の登場、拡大するセキュリティ市場

Euro 7導入により、データの信頼性は規制遵守の核心要素になり、車載セキュリティは環境規制対応に向けた必須インフラへと拡大。車両データの生成・送信・検証に至る全プロセスでのセキュリティ構築も求められ、セキュリティが規制への対応能力になる仕組みに

ユーロ7規制対応における世界市場規模



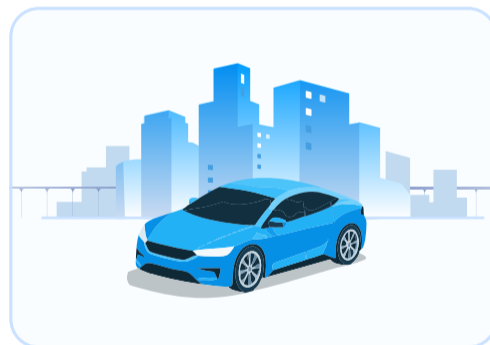
CAGR
17.72%

年平均成長率17.72%と予測

ユーロ7対応に向けた1台あたりの追加コストのうち、大部分をソフトウェアの完全性確保およびセキュリティ認証分野へ割り当て、数千万台の新車にセキュリティ技術が搭載される、巨大市場

セキュリティ規制の強化

設計フェーズでの検証やリアルタイムで内部データの完全性検証といったユーロ7の要求事項は高度な専門性を要するため、対応可能な企業は限られた特定のサプライヤーのみ



ユーロ7サイバーセキュリティ対応のパートナー、アウトクリプト

アウトクリプトは、ユーロ7対応に必要な能力をいち早く確立。データ完全性を確保するサイバーセキュリティ技術により、自動車メーカーが直面する複雑なユーロ7認証にワンストップで対応可能な中核ソリューションを提供。



データの完全性を確保

- 排出プロセス全体にわたる改ざん防止
- OBMに基づく構造的な信頼性確保



法規制準拠に向けた包括的ソリューション

- ユーロ7・UN-R155準拠に向けた統合支援
- 複雑な認証プロセスをワンストップで解決



リアルタイム脅威検知・対応

- IDSに基づくリアルタイム検知と遮断
- 走行中に発生するデータの改ざんに対応

データに基づく規制環境へと移行が進む中、
セキュリティの確保は不可欠な要件となっています。

アウトクリプトは車両ライフサイクル全体を網羅するサイバーセキュリティを通じて、
ユーロ7 (Euro 7) への対応を支援します。